

議会だより



だいせん

No. 12

2008年(平成20年)5月8日発行



本は楽しいね、親子で読み聞かせ

苦しいなかにも楽しいわがまちに 平成20年度予算決まる	2
観光交流センターに1億5千万円	6
大山町の子育て支援ってどんなこと	8
あなたの声を町政に (12人が一般質問)	14
みんなのひろば 声	24

一般会計は95億8,000万円に!!

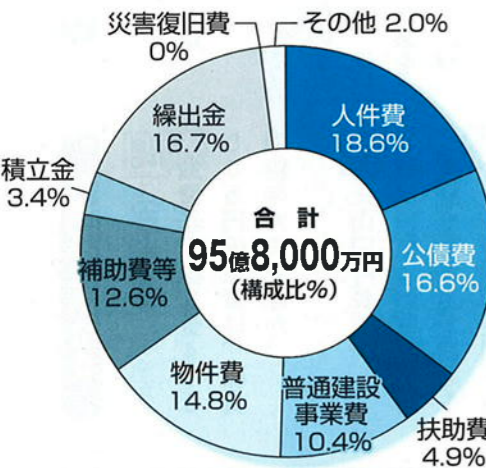
前年度対比は率で1.3パーセント、額で1億3,000万円の減

一般会計歳入



地方税 (町民税や固定資産税等の税金)	15億5,840万円
地方交付税 (市町村の均衡を図るため国が交付するお金)	47億4,100万円
地方債 (特定の事業のために借り入れる借金)	10億1,420万円
国庫支出金 (国や県が特定の事業に交付するお金)	10億6,089万円
繰入金 (基金 (=貯金) を取崩したお金)	2億2,619万円
その他 (譲与税・使用料・諸収入など)	9億7,932万円
合計	95億8,000万円

一般会計歳出



人件費 (給料や報酬などにお金)	17億7,698万円
公債費 (借金を返済するためのお金)	15億9,428万円
扶助費 (医療費助成や支援のために使うお金)	4億6,918万円
普通建設事業費 (道路の整備や建物などの整備に使うお金)	9億9,643万円
物件費 (業務委託料・消耗品費・借上料などにお金)	14億1,856万円
補助費等 (各種団体などへの負担金・補助金)	12億998万円
積立金 (基金積立 (=貯金) するためのお金)	3億2,552万円
繰出金 (特別会計を支援するために繰出すお金)	15億9,458万円
災害復旧費	620万円
その他 (維持補修費・貸付金など)	1億8,829万円
合計	95億8,000万円

祝第61回名和中学校 卒業証書授与式



希望に満ちた、新たな旅立ち

**苦しいなかにも
楽しいわがまちに**

平成20年度予算決まる

3月定例議会は、3月6日から26日までの21日の会期で開かれ、初日には、町長が施政方針を述べました。町長は、逼迫した苦しい財政状況のなか、財政の健全化や大山恵みの里計画の具現化、少子・高齢化など地域課題への取り組みの推進を基本方針に据え、行政運営していくことを表明しました。

平成20年度一般会計、特別会計、事業会計など21会計の予算と29の条例改正などの議案は、予算等審査特別委員会を設置し集中審議を行い、一般会計予算は賛成多数で、その他の議案はそれぞれ全会一致で原案のとおり、可決いたしました。また、教育委員会委員の選任や平成19年度補正予算、議員提案による国への意見書など21議案もあわせて審議し、全会一致で原案のとおり、可決しております。

一般質問には、12人の議員が農業振興や地球温暖化防止対策、財政問題などに活発な議論を展開いたしました。

基金と地方債 … 一人あたり貯金は16万円、借金は133万円で前年と比べほぼ横ばい

平成20年度の基金の状況は、一般会計では合併振興基金2億4,267万円の新規積立と減債基金1億円、地域福祉基金1億円の取崩が予定され、特別会計では所子工業団地造成のため、土地開発基金1億7,720万円の取崩が予定されています。公債費の状況は、一般会計では多少減少の傾向にあります。特別会計では、地域情報通信基盤整備事業の借金返済が19年度から始まったことにより、一般会計を上回る額となっています。総体的には、基金、公債費とも、前年に比べほぼ横ばいとなっています。

区 分		18年度末現在高	19年度末現在高(見込)	20年度末現在高(見込)
基金 (町の貯金)	一般会計	22億759万円	24億6,019万円	25億5,980万円
	特別会計	6億7,306万円	6億7,483万円	4億9,870万円
町債 (町の借金)	一般会計	127億9,590万円	125億3,999万円	121億7,242万円
	特別会計	124億9,967万円	138億6,130万円	131億1,672万円

特別会計 (主なもの)

会 計 名	平成20年度	平成19年度	対前年比 (%)
国民健康保険特別会計	25億797万円	23億8,395万円	5.2
国民健康保険診療所特別会計	5億9,729万円	4億9,127万円	21.6
後期高齢者医療特別会計	2億66万円	0	皆増
介護保険特別会計	17億3,540万円	17億9,18万円	1.5
農業集落排水事業特別会計	5億6,844万円	5億1,992万円	9.3
公共下水道事業特別会計	5億1,246万円	5億4,757万円	△ 6.4
情報通信事業特別会計	3億5,129万円	1億4,580万円	140.9